

議案質疑

第116号議案 平成20年度佐賀市一般会計補正予算（第3号）

歳出 民生費 ひとり親家庭等総合支援計画策定経費 234千円

（質疑）①計画策定の目的②事業内容③アンケート調査の状況④検討委員会の構成。

（答弁）①ひとり親家庭がさまざまな不安や課題を抱えている中、実態を把握し、利用者が求める支援の方向性や利用可能なサービスの全体像をわかりやすく示し、関係機関が実効性ある連携を図ること②実態把握のためのひとり親家庭へのアンケート調査、計画を策定するための検討委員会の設置など③約2,670世帯に送付し、回収率は約55%④公募委員1名のほか、母子寡婦福祉連合会、民生委員、ハローワーク、商工会議所の方、有識者、弁護士などで、総数11名程度を予定。

第130号議案 佐賀市営住宅条例の一部を改正する条例

第131号議案 佐賀市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例

（質疑）①条例改正の経緯と目的②警察との連携のあり方③警察へ照会する対象者の範囲④暴力団員の家族への対応。

（答弁）①都営住宅での暴力団員の立てこもり発砲事件を契機に、国から公営住宅等からの暴力団排除通知が出され、佐賀県及び武雄市では条例改正がなされた。佐賀市でも暴力団排除の方針に実効力を持たせるため、この方針を条例に位置づけて警察との連携を図っていく②暴力団員に関する情報提供、市営住宅等の使用制限をする際の協力等に関し、佐賀警察署と協定を結ぶ③新規入居者全員④同居親族に暴力団員がいなければ入居拒否はしないが、暴力団員である家族とは決別してもらう必要がある。

第136号議案 佐賀市市税条例の一部を改正する条例

（質疑）公的年金等からの住民税の天引き導入について①導入の経緯②他の税等との天引きの優先順位③天引き対象者の見込み数④対象者への周知。

（答弁）①徴収事務の効率化と納税義務者の利便性の観点から、市町村が国へ要望し、実現②原則は、まず所得税、次に介護保険料、次に国保または後期高齢者医療保険料、最後に住民税の順③約6千人（65歳以上の年金所得者約4万9千人）と試算④市報・ホームページへの掲載、確定申告時期におけるチラシ配布やポスター掲示、6月に送付する納税通知書にチラシを同封して広報。

他の議案質疑項目

第116号議案 平成20年度佐賀市一般会計補正予算（第3号） 歳出 総務費 住民税システム改修等経費

意見書

▼食料自給率の向上をめざす農業再生の対策を求める意見書案

（賛成少数で否決）

▼地域医療の拡充を求める意見書案

（全会一致で可決）

▼地方財政の充実・強化を求める意見書案

（全会一致で可決）

▼学校耐震化に関する意見書案（全会一致で可決）

▼国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書案（全会一致で可決）

▼新たな過疎対策法の制定を求める意見書案（全会一致で可決）

人事

人権擁護委員候補者の推薦について、次のとおり異議なき旨答申した。

▽栗崎 孝子

（嘉瀬町大字中原）

▽小池 美鈴

（大和町大字久池井）

決算特別委員会

平成十九年度の佐賀市の各会計（企業会計・特別会計及び一般会計）決算議案を審査するために、平成二十年九月三十日に設置しました。これらの決算特別委員会では、閉会中に各会計決算議案の審査を行い、次の十二月定例会において審査報告を行います。

企業会計・特別会計 (定数十一名)		一般会計 (定数十一名)	
◎重田 音彦	◎松尾 和男	◎川原田裕明	◎池田 正弘
野中 宣明	原口 忠則	白倉 和子	西岡 正博
重松 徹	千綿 正明	古賀 種文	福島 龍一
山口 弘展	亀井 雄治	中山 重俊	永渕 義久
井上 雅子	平原 嘉徳	豆田 繁治	田中喜久子
西岡 義広	山下 明子		

◎は委員長、○は副委員長

議会の活動（7月～9月）

7月から9月末までの議会の主な活動状況は、次のとおりです。

◇特別委員会

議会広報調査	
7/ 8	6月定例会の広報のため「議会だより」の委員会報告、一般質問などの原稿点検
7/17	6月定例会の広報のため「議会だより」のレイアウト、記事の第1回校正
7/23	6月定例会の広報のため「議会だより」のレイアウト、記事の第2回校正
7/25	6月定例会の広報のため「議会だより」のレイアウト、記事の最終校正
9/10	9月定例会の「議会だより」作成のための委員会日程、ページ数の検討など
人口問題調査	
7/ 7	人口問題に関する諸種調査について
8/11	人口問題に関する諸種調査について
市立病院等調査	
8/11	佐賀市立富士大和温泉病院及び三瀬診療所に関する諸種調査について
8/27	佐賀市立富士大和温泉病院及び三瀬診療所に関する諸種調査について
中心市街地活性化調査	
8/25	中心市街地活性化調査について
9/25	徴古館の整備について

◇議会基本条例検討会

7/ 1	「執行部と議会との関係」の部分について
7/28	「議員と議員との関係」の部分について
8/11	「その他」の部分について
9/26	議会基本条例の素案、今後の進め方、次回開催〔10/14（火）決定〕など

◇会議等

全員協議会	8/26	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の改定 ・地方公共団体の財政の健全化に関する法律に伴う健全化判断比率 ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に伴う佐賀市教育委員会評価 ・議会基本条例検討会の中間報告
-------	------	--

◇委員会視察

総務	7/ 2～ 4	静岡県浜松市、愛知県新城市視察（詳細は18ページをご覧ください。）
文教福祉	7/14～16	埼玉県春日部市、東京都三鷹市視察（詳細は18ページをご覧ください。）
人口問題調査特別	7/ 9～11	広島県安芸高田市、呉市視察（詳細は19ページをご覧ください。）
議会広報調査特別	7/28～30	兵庫県尼崎市、広島県福山市視察（詳細は19ページをご覧ください。）

◇その他の行事

8/ 8	県内議員研修会（鳥栖市）
8/30	「神籠の森」下草刈り（帯隈山・神籠の森）
9/ 1	秋の街頭募金活動（佐賀駅周辺）

視察報告

総務委員会 日程 7月2日(水)～4日(金)

①静岡県浜松市

債権管理条例について

債権回収対策課の役割について

平成17年7月の合併により人口が80万人を超え、19年には16番目の政令指定都市となっています。政令市の中でも市税等の収納率が低かったため債権管理条例を制定し、債権回収対策課を設置されています。

債権回収対策課の設置に当たっては市長や副市長が担当職員を激励し、表彰制度を設けたり、市長みずから折衝するなど、全庁的に取り組んでおられます。



浜松市視察の様子

【所見】佐賀市の収納率は浜松市に比べると良いのですが、財政難の折、貴重な財源を少しでも多く確保するという観点から、一元的な管理や収納を行うことはかなり効率的で大変参考になりました。

②愛知県新城市

予算編成における透明化について

平成17年10月の合併により人口5万人超の新市として誕生しました。

市長のマニフェストである「情報公開とガラス張りの財政により隠し事のない役所の実現」に基づいて、予算編成の過程を、理由をつけて、二段階で市のホームページに公表されるなど、積極的な情報公開が行われています。

【所見】市の規模の違いはありますが、予算編成の過程もあわせてホームページで公表することは大いに検討してよいと思います。

また、「公開したほうがよい情報」についていろいろな視点から検討する余地があると感じましたし、公開の方法を検討する余地があると感じました。

文教福祉委員会 日程 7月14日(月)～16日(水)

①埼玉県春日部市

福祉総合窓口について

「日本一子育てしやすいまち」を目指し、福祉事業のさらなる充実を図るために、子育て相談のほか、高齢者相談、障がい者相談、生活保護相談、高齢者虐待相談など福祉に関する相談、各種申請等を1カ所の窓口で行うワンストップサービスを実施しています。



福祉総合窓口（春日部市）

【所見】佐賀市も総合窓口制度を実施し評判も良好ですが、福祉となると本庁とほほえみ館に分離していますので、ワンストップサービスというわけにはいきません。

そういう物理的な課題は抱えてはいても、春日部市の担当者も言われていましたが「市はサービス業であり市民はお客様」の精神や先進的なところはどんどん取り入れていくべきです。

②東京都三鷹市

小・中一貫教育校の推進について

児童・生徒は、既存の小・中学校に在籍しながら、現行制度の枠組みの中で、学校と地域がともに手を携え、義務教育9年間を通して、子どもたちの人間力を育てていこうと取り組まれています。

9年間の一貫したカリキュラムにより、小・中学校の教員、児童・生徒の連携と交流を深める教育活動を行っています。

【所見】「地域の子どもたちは、地域で育てる！」「地域全体で、共に子どもを育てる！」とし、9年間の教育カリキュラムを作成し、途切れさせないという考え方は、なかなかできない発想だと思いました。

質疑応答の中で、「デメリットは何か」という質問に対し、「ありません！」と断言されたのが非常に印象的でした。

佐賀市でも総合計画で「子どもの育ちの連続性」を保障し、一層幼・保・小・中の連携を図ることとしており、現在、芙蓉校、北山校で小・中一貫校に取り組まれていますので、今後も注視していきます。

視察報告

人口問題調査特別委員会 日程 7月9日(水)～11日(金)

①広島県安芸高田市

地域振興組織の取り組みについて

川根振興協議会現地視察

川根振興協議会では「地域のことは地域で」との意識を強く持たれており、人口減や少子高齢化など地域として危機感を持っておられますが、悲壮感はなく、前向きに地域の特性や長所を見出して活動されています。

市内全域に32地域振興組織と6連合組織を置いて住民自治のまちづくりを進められています。



川根地区タウンセンター（安芸高田市）

②広島県呉市

呉市定住支援策について

平成の市町村合併を経て、島が散在する市となられ、人口減や高齢化が問題視されていますが、空き家バンク制度や旅行者とタイアップした長期滞在型「くれツアー」等を実施され、定住促進対策に取り組まれています。

【両市の所見】自分たちの住む地域を自分たちで管理し、みずから住みよい地域づくりに役割を担う。その活動を通じて、定住や地域活性化につながっていくことの実践を肌で感じました。

佐賀市も、自分たちの地域をどう運営していくのか、その活動の活性化やリーダー集団の育成等々、定住や地域の活性化の一翼を担えるよう、もっと力を入れなければなりません。

佐賀市は総合政策の中での定住というスタンスですが、相談窓口の一本化や情報発信などは早急に体制整備をする必要があります。

議会広報調査特別委員会 日程 7月28日(月)～30日(水)

①兵庫県尼崎市

インターネット中継について

本会議におけるインターネット中継については、平成17年9月定例会から導入されています。また、予算特別委員会におけるインターネット中継についても平成21年3月から導入予定ですが、これは全会議室（議員総会室、第1～第3委員会室）に設置する機材の全予算の確保が難しいため、まずは議員総会室から設置するとのことでした。

【所見】佐賀市議会も先の6月定例会からインターネット中継を開始しましたが、尼崎市は市民からの陳情によって予算特別委員会の中継を計画されています。

今後、佐賀市においても市民の意向を把握しながら、各委員会の中継も視野に入れた研究、検討を重ねる必要があります。



尼崎市視察の様子

②広島県福山市

福山市議会ダイジェスト放送

福山市議会代表質問、個人質疑及び一般質問放送業務について、業務委託して、ラジオ番組「福山市議会ダイジェスト」として放送されています。

【所見】福山市の場合一般質問のほとんどが会派の代表質問の方法をとっておられ、質問者も数名という状況から、即、佐賀市との比較はできませんが、議会情報の発信という面から、今後もあらゆる手段を検討していくべき必要性を感じました。

議会からのお知らせ

○傍聴案内

本会議は公開されており、どなたでもその様子を見ることができます。

傍聴を希望される方は、本会議開催当日、市役所（本庁舎）東玄関北側入り口からお入りください。なお、足の不自由な方等は市役所西側のエレベーターを使って2階の議会事務局にお越しください。事務局職員が御案内いたします。

車いすでの傍聴もできますので、ぜひおいでください。

なお、車いすの方が傍聴に来やすい環境を整備するため、今年度バリアフリー工事（議場内昇降機の設置及び多目的トイレの整備）を行っています。

（現在工事中で12月議会から利用できる予定です。）



議場内昇降機

佐賀市議会12月定例会のおしらせ 12月1日（月）午前10時開会（予定）

※日程等については、定例会開会前に議会運営委員会で協議され、定例会開会日に正式決定されます。

決定次第、市のホームページでお知らせいたします。

広報委員のつぶやき

わが胸に鳴く虫か はた われからか

「自鳴鐘」主宰 寺井谷子

NHKテレビの「俳句王国」を視て心にのこった句である。

「はた われからか」という、自問に興味をそそられた。

おりしも九月議会のさなかのことである。

付託された議案を「是とするか、非とするか」の判断を迫られる日々にあつて、心の深遠くにわけ入つて情念をみつめる時間は、心のありように潤いを取り戻せる得難いひとときである。

私達議員は、常に、市民・住民の方々の負託や要望に真摯に対応していく重い責務を負っている。しかし、「市民・住民」という概括した表現に、一人ひとりの願いや背負っている苦しみが十分に組み込まれているかどうか、深く鋭く検証していくための研鑽を積み重ねねばなるまい。

先日もまた、福祉事業に関わる方の訴えを聴く機会を得た。ハンディを持って生活と真向かっていらっしゃる方々が、声を上げるゆとりや術さえもなく過ごしておられる実情をしつかり掘り起こしたい。

話す聞く 見る嗅ぐ触れる

考える

私のもつとやれる気がする

これもNHK歌壇の入選歌である。

なんの銜もなく謳い上げる、二十四歳の作者の、この若々しい昂揚感を共有して、これからも議員としての自負をみつめていきたい。

（井上）

本会議の様をぶぶんテレビで生放送しています（開会中10時から最長17時まで）。

佐賀市のホームページでもインターネット動画配信を行っています。また、市議会からのお知らせ、本会議の議事録検索、議員名簿などを掲載しています。

詳しくは佐賀市のホームページ <http://www.city.saga.lg.jp/> をご覧ください。